

第20期（2023年度）事業計画（案）

2023年 10月 1日から 2024年 9月 30日まで

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク

1. 組織体制

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク役員一覧

- 理事長： 五島 洋 （弁護士：弁護士法人飛翔法律事務所 代表）
 理事： 岩井 誠人 （同志社大学理工学部教授）
 大谷 康弘 （公認会計士・税理士：KVI 税理士法人 代表社員）
 長田 一郎 （㈱ホロニック 代表取締役社長）
 西村 隆志 （弁護士 西村隆志法律事務所 所長）
 橋本 雅文 （同志社大学 理工学部 教授）
 文 美月 （㈱ロスゼロ 代表取締役）
 眞下 晋一 （弁理士：弁理士法人アローレインターナショナル）
 松本 敏史 （早稲田大学 商学大学院会計研究科 教授）
 和田 元 （同志社大学 理工学部 教授）
 大倉 英士 （弁護士 中京法律事務所 所長）
 本田 凜太郎 （社会保険労務士：Challenged すばる社労士法人 会長）
 須貝 フィリップ （同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授）
 監事： 恩村 政雄 （O.B.C.C 経営コンサルタンツ 主宰）

2. 今年度の事業計画

基本方針

4つの塾活動を中心にするという基本方針は変わらないが、経済学部での寄付講座に代わる大学との連携及び学生への訴求に重点を置き、リエゾンオフィスとも緊密な関係を構築したいと考え、定期的な情報交換を行う所存である。

(1) 産官学連携に関する研究会等の開催事業

- ・逸品塾 ＊資料 逸品塾 第15期フライヤー

第15期後半（予定）＜～2024年3月＞

◆ 全体会議

現時点ではWEB開催とリアル開催と並行して行う。現状確定済みテーマは以下の通り。

- ・2023年11月10日（金）
『技術経営の立場から語るDX』 福代和宏 氏（山口大学大学院 技術経営研究科 教授）
- ・2023年12月15日（金）
『特別採用手続きの実態解明』 加登豊 （逸品塾塾長）
- ・2024年1月12日（金）
『成長の仕組み』 ジェフ・ハヤシダ 氏（元Amazon日本法人社長、CoEvo(株)最高経営責任者）

◆ プロジェクト研究

第15期テーマ：「持続的な競争力の獲得を目指して：模倣されないビジネスシステムの構築」

第16期テーマ：「持続的な競争力の獲得を目指して：模倣されないビジネスシステムの構築 Part II」

◆ 良書会

ドネラ・H・メドウズ『世界はシステムで動く』英治出版 2015年 ほか

◆ 海外研修

15期メンバーを中心に3月に予定。研修先は、サンフランシスコ/ラスベガス/ロサンゼルス/サンディエゴ等

第16期前半（予定）＜2023年4月～＞

○ 講演テーマ（予定）日程未定

- ・影響システム：人はなぜ測定されると行動を変えるのか
- ・製造業のサービス化
- ・価値共創と顧客満足
- ・クラウド・ファンディングの功罪
- ・品質問題と品質不祥事
- ・集団心理と同調圧力
- ・コスト低減とコストマネジメント
- ・「全品良品」の追求は、利益向上に結び付くか など

※ 上記活動に加え、塾長師範代等の関係者の研究支援、卒業生同期会や研究会サポート、各プロジェクトグループ活動支援、事業所訪問旅費・宿泊費等支援、連携先（名古屋商科大学ビジネススクール）事業である「実践逸品塾」及び、各種研究会との連携を予定している。

・ 士業研究会

士業研究会では大阪市立中央図書館と共催で同館が開催するビジネス講座元気塾を開催している。次年度には以下のテーマで士業研究会メンバーが講師をつとめる。

2024年1月27日（土）「起業関係関連講座1」

担当：中小企業診断士 恩村 政雄 氏（予定）

・ VRC塾

VRC塾では、同志社大学の社会価値研究センター（Value Research Center：VRC）の研究成果を、参加企業と共有、活用し、社会的価値を創造することを目的としている。

設立初年度は、有料会員数が予想以上に少なかったため、一般に公開する一連のワークショップと、会員および入会に関心のある企業向けの集中ワークショップを開催することに重点を置いた。東京で1回、京都でオンラインと対面式のワークショップとイベントを開催し、認知度向上に努めた。2年目となる今年度の活動予定は以下の通りとする。

◆ Global Innovation and Value Summit (GIVS)

2022年11月にCOVID危機後初のグローバル・イノベーション&バリュー・サミット (GIVS) を開催し、そこでVRC塾の発足を紹介した。

2023年11月17日には、大阪でより大規模なGIVS2023を開催し、より多くの潜在的な企業にVRC塾を知ってもらい、会員として参加してもらうことを計画している。

◆ イベント、ワークショップ

GIVS2023を成功させた後、2024年にはより多くのメンバーをVRC塾に誘致することを目指しています。新たなメンバーを迎え、価値創造のケーススタディやリサーチを中心としたイベントやワークショップを以下のスケジュールで、より頻繁に開催していく予定である。

- 1月～3月 「社会と顧客のための価値」
- 4月～6月 「自然と企業にとっての価値」
- 7月～9月 「サステナビリティ・レポートと ESG」
- 10月～12月 「パートナーと従業員にとっての価値」

各々のテーマにおいて、1名もしくは2名のゲストスピーカーによる講演を行う。

また、GIVS2024はさらに大規模なイベントとして開催し、VRC塾にさらに多くの会員を集めたい。

・プロジェクト科目推進研究会

今年度は、本NPOとしてプロジェクト科目に応募する予定はない。

(2) 産官学連携による起業家育成及びサポート事業

・社会起業家養成塾（ソーシャル・アントレプレナー）

早めの募集と学生への発信を強め、入塾者を一層多くできるように努めたいと考える。前期に合宿を復活させることができたので、新型コロナの影響で合宿がなくなり卒塾生との関係が希薄化してしまったので、改めて卒塾生を含めたネットワークの構築に向けた活動を行っていきたい。

・DVT 学生ベンチャー支援（アントレプレナー教育）→起業家予備軍の育成

新型コロナ感染拡大によって、DVTとの関係が希薄化したが、本年より未来経営塾において、DVT幹部と定期的なコンタクトを再開し、8月には起業セミナーなどのイベントを開催できた。

イベントには16名の学生が参加し、好評であったため、今後、2回目以降の継続開催を企画している。

また同志社大学OB企業の訪問やOBを講師に迎えた勉強会なども企画中であり、来期も引き続き積極的な活動を通じ、DVTにおけるアントレプレナーシップ醸成に努めたい。

またDVTのOB会設立の支援も行い、団体としての結束力を高めることにも取り組む。

社会起業家養成塾をDVTメンバーにしっかりと告知し、DVTの中から入塾希望者が出るような取り組みも行って行く。

・ **未来経営塾（事業承継・若手起業家の育成）**

コロナ禍が終わり懇親会を復活させることができたのは大きい。学生や若手起業家に向けた充実した内容で話せる講師の確保を計画的に行っていきたいと考えており、理事の皆様のご協力をお願いしたい。また、大学の先生方のご登壇もお願いしたいと考えている。

・ **寄付講座（学生への訴求・SDGs時代の起業）**

経済学部での寄付講座が終了したので、それに代わる大学との連携活動を様々に展開して行くことを考え、大学の先生方やリエゾンオフィスと連絡を取りあっている。

- (3) 法人の活動を広く知らしめるためのメルマガ等もスタッフのご協力により行っており、未来経営塾のYouTube 発信もしている。

以 上